

# 第 13 回 小胞体ストレス研究会

平成 30 年 11 月 16 日(金)～17 日(土)

コテージ・ヒムカ・センター棟

## 特別講演

多賀谷光男 (東京薬大)

「MAM (mitochondria-associated membrane) における syntaxin 17 の多様な機能」

## 口頭発表演題

1. 門脇寿枝 (宮崎大)  
「小胞体の予防的品質管理における新規合成タンパク質の翻訳制御機構」
2. 中務邦雄 (名古屋市大)  
「リボソーム生合成因子の転写調節に関わる Dot6 と Tod6 の分解制御機構」
3. 稲田利文 (東北大)  
「小胞体ストレス応答におけるリボソームユビキチン化の新規機能」
4. 山本洋平 (大阪大)  
「小胞体サブドメインで起こるオートファゴソームのサイズ制御機構」
5. 伊藤進也 (京都産業大)  
「コラーゲン特異的分子シャペロン Hsp47 の機能制御」
6. 佐藤敦子 (お茶の水女子大)  
「発生のロバストネスにおける DNAJ シャペロンの役割について」
7. 千原崇裕 (広島大)  
「ショウジョウバエ小胞体分子 Meigo と dVAP に関する遺伝学的解析」
8. 木俣行雄 (奈良先端大)  
「サイトゾル環境による小胞体ストレスセンサー Ire1 の制御」

9. 河野 望 (東京大)  
「膜脂質異常による IRE1 活性化機構」
10. 片桐豊雅 (徳島大)  
「乳がん細胞における IRE1 活性化機構の解明」
11. 谷内秀輔 (徳島大)  
「HMGB1 と HMGB2 は PERK の新規リン酸化基質である」
12. 難波卓司 (高知大)  
「小胞体-ミトコンドリアタンパク質複合体によるミトコンドリアの恒常性維持機構の解明」
13. 稲城玲子 (東京大)  
「UPR 経路を介した ER-ミトコンドリアクロストークと腎臓病」
14. 齋藤 敦 (広島大)  
「小胞体膜-細胞膜コンタクトによる小胞体ストレス応答制御を介した神経機能調節」
15. 堀 修 (金沢大)  
「神経系における ATF6beta の発現と機能」

#### ポスター演題

1. 加藤裕紀 (宮崎大)  
「褐色脂肪細胞における小胞体センサーPERK の役割」
2. 村尾直哉 (宮崎大)  
「小胞体膜分子 Derlin ファミリーの成体海馬ニューロン新生における役割の解明」
3. 杉山崇史 (宮崎大)・・・(ポスター賞)  
「中枢神経における小胞体品質管理機構の破綻に起因する運動障害のメカニズム」
4. 立中佑希 (同仁化学研究所)  
「新規脂肪滴検出蛍光色素、小胞体染色蛍光色素の開発とその応用」
5. 松下洋輔 (徳島大)  
「N 型糖鎖修飾制御に関与する RHBDL2 のトリプルネガティブ乳癌悪性化機構における役割」
6. 三宅雅人 (徳島大)  
「CRISPR スクリーンで同定した新規 PERK 経路制御因子の機能解明」

7. 張 君 (徳島大)  
「セリン 710 残基による IRE1 $\alpha$  RNase 活性の制御」
8. 山川哲生 (徳島大)  
「PERK 経路下流因子 ncRNA による癌増殖機構の解析」
9. 北風圭介 (徳島大)・・・(ポスター賞)  
「細胞ベースのハイスループットスクリーニングによる新規化学シャペロンの同定」
10. 濱田良真 (徳島大)  
「薬理・物理的な eIF2 $\alpha$  のリン酸化誘導とキナーゼの同定」
11. 松木泰子 (東北大)・・・(ポスター大賞)  
「小胞体ストレス応答におけるリボソームユビキチン化による新規翻訳制御機構」
12. 柿元百合子 (山形大)  
「新規オルガネラ間結合因子の同定と生理的意義の解明」
13. 金子雅幸 (広島大)  
「ユビキチンリガーゼ RNF182 によるライソゾーム膜上でのタンパク質分解調節機構」
14. 尾崎陽介 (広島大)  
「ムコ多糖症 II 型原因分子 Iduronate-2-sulfatase の分解機構とその制御による酵素機能の回復」
15. 亀村興輔 (広島大)  
「小胞体分子 dVAP の細胞自律的・非自律的機能に関する遺伝学的解析」